

普通科人文40班

私達の暮らしを豊かにする商品



班員 島津瑠衣 城戸紅愛
鬼木蒼太 岩切英大

指導者 山中千聡先生

研究動機

2年後には大学生または社会人になり一人暮らしを始める自分たちのような人をターゲットにして、生活を豊かにするために経済的にできることを探したり調べたりして将来の生活に役立てたいと考えたから。

研究の目的

大学生や一人暮らしの人の出費を減らす工夫や方法を探し、それらを活用し生活を豊かにする。

先行研究or分かっていること

大学生の1人暮らしの1ヶ月の平均生活費▶約12.4万円(2022)

ネット通販での買い物がそれほど増えていない「食料品」(生鮮食品を除いたもの)は、物価が上がる傾向が続いている。

ネット通販での買い物が一年前より10%以上増えている「日用品」や「衣料品」は、物価の伸びが弱まっている。



研究方法

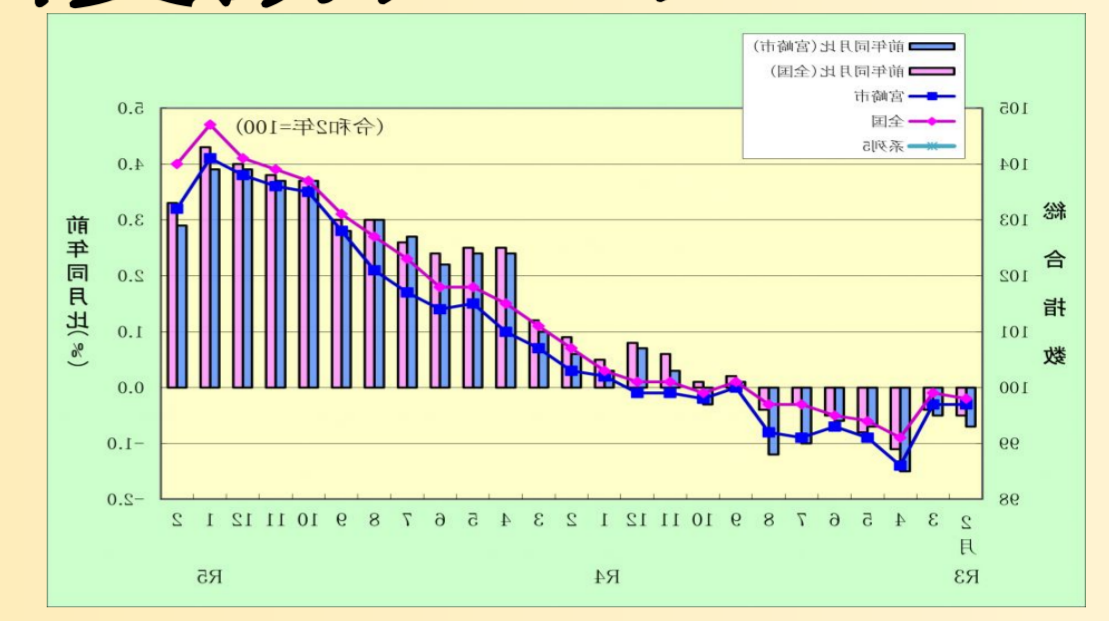
何も意識せず生活を行うグループと物価の変動が小さいものを意識的に消費し生活するグループに分かれてその時期の物価の変動から出費の違いを調べる。

生活の仕方を変えて得をした方、出費を減らせた方を調べる。



必要な道具

- ・1年間と1ヶ月ごとの物価変動データ
- ・パソコン
- ・紙とペン



仮説

物価の変動が小さいものと変動が大きいものでは、変動が小さいものを生活で利用するほうが、出費を抑えることができて生活が豊かになる。

研究計画

日常生活に必要なものの中で、物価の変動が大きいものを買う人と、変動が小さいものを買う人に分け、それぞれ1年間と1ヶ月ごとの4つのパターンで平均を調べる。

4～5月	2つのグループに分かれて物価の変動で出費や生活の仕方が変わるかを調べる
6～7月	支援の方が教えてくださった延岡市が実施している男女共同参画推進室を利用して他の方法を考える
夏休み	長期休暇に入ることで物価の変動に変化があるのか調べる 同じ方法で変動を調べ前の月と比較し調べる
9～10月	今までの研究結果をまとめ共通するところなどを見つけどんな方法が一番出費を減らせて生活の豊かさに影響したかを話し合い自分たちで結論を出す
11～12月	今までの研究で得られたデータをもとにポスター作成

参考文献

宮崎県消費者物価指数

<https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kense/toke/sekatsu/bukcashisu/index.html>